

ラン科 ツレサギソウ属

オオバトソウ (大葉の蜻蛉草)

Platanthera minor (Miq.) Rchb.f.

自生環境

山林

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



やや自然度の高い山林に生えます。ただ最近ではササ類の繁茂や不法投棄で林内が荒れたり、山林そのものが開発されたりと、市内の生育状況はあまり良好とは言えません。

市内の分布状況

市内の山林内に自生がありますが、数はそんなに多くはありません。

自生環境保護のため
場所は非公開です



特徴

- ☆ 里山～低山地の林内に生える多年草で、ノヤマトンボやノヤマトソウなどの別名があります。土の中の微生物（いわゆるラン菌）と共生しており、相性の良い種類のラン菌がいる場所でのみ生育が可能です。
- ☆ 葉は深緑色で、やや幅が広い楕円形です。茎は直立し、30～50cm くらいにまでのびます。初夏、茎の上部にうすい黄緑色の花が何個も咲き、まばらな穂となります。
- ☆ 花の後、細長い果実ができ、その中に粉のようなタネがびっしりと詰まっています。普通タネの中には発芽に必要な養分も蓄えられていますが、オオバトソウを初めてするラン科植物のタネにはそれがありません。そのため発芽には相性の良いラン菌の力を借りる必要があります。

植物名に昆虫が…

ラン科の植物は、花のかたちがとても複雑で、ユニークな種類が多いのが特徴です。トソウもその一つで、花のかたちがまるでトンボの飛び姿に見えることから名前が来ています。ミズトンボ、ムカゴトンボなど、名前にトンボが入るランは案外多いものです。他にもコオロギラン、ジガバチソウ、スズムシソウなど、ユニークなかたちの花を昆虫に見立てて、名前がついたものも少なくありません。



7月ごろ
小さな
黄緑色の
花を
まばらに
咲かせる

茎につく葉は
細くて小さい



花はまるで
飛んでいる
トンボのよう

この中に
粉のような
タネが
びっしりと
詰まっている



株もとの葉は
深緑色で幅が広い



茎は
まっすぐ
上へと
立ちあがる



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

